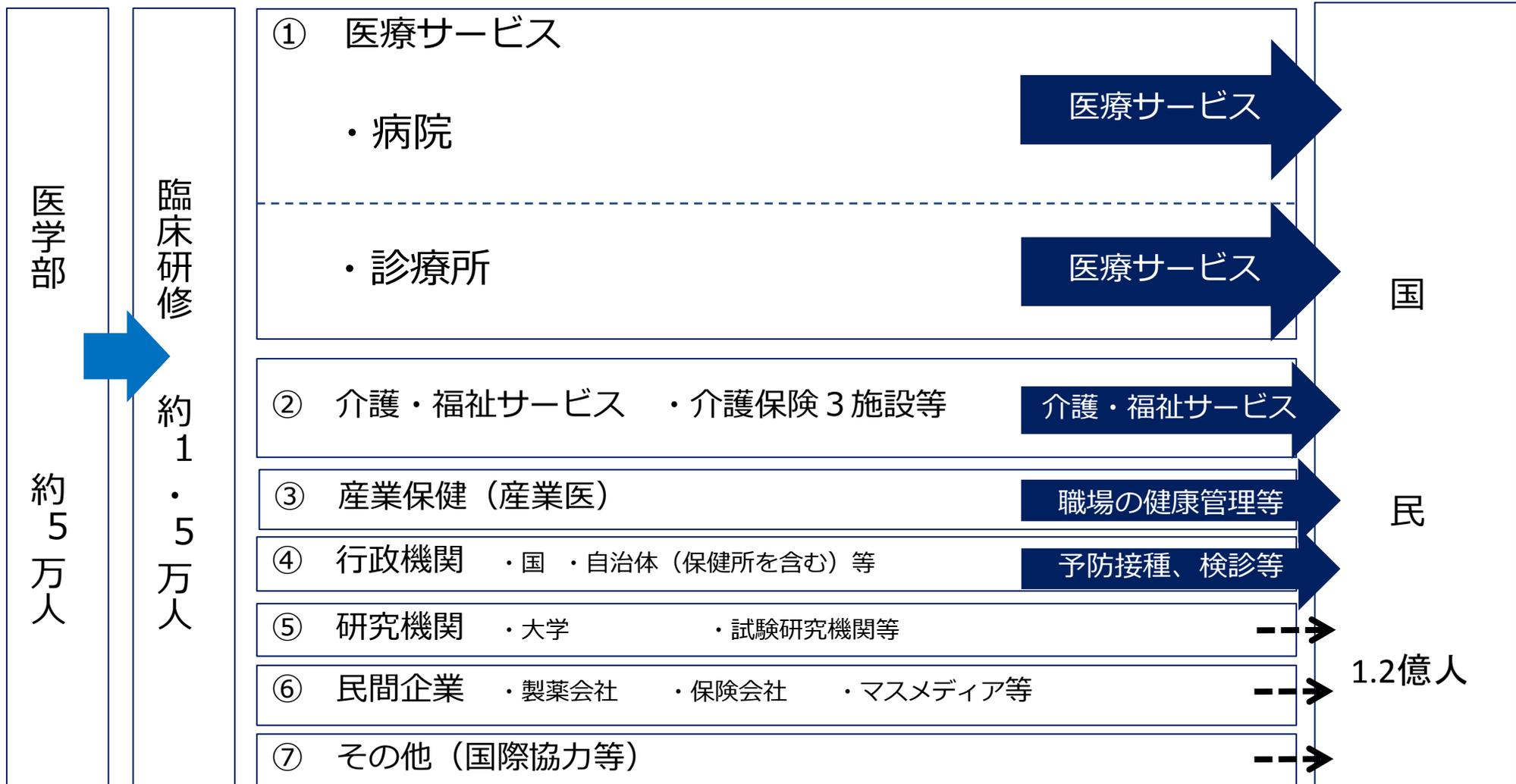


# 医師偏在に係る課題(案)

# 医師のサービス・分野別配置（イメージ）



# 医療サービスにおける医師のキャリア形成（イメージ）

24歳

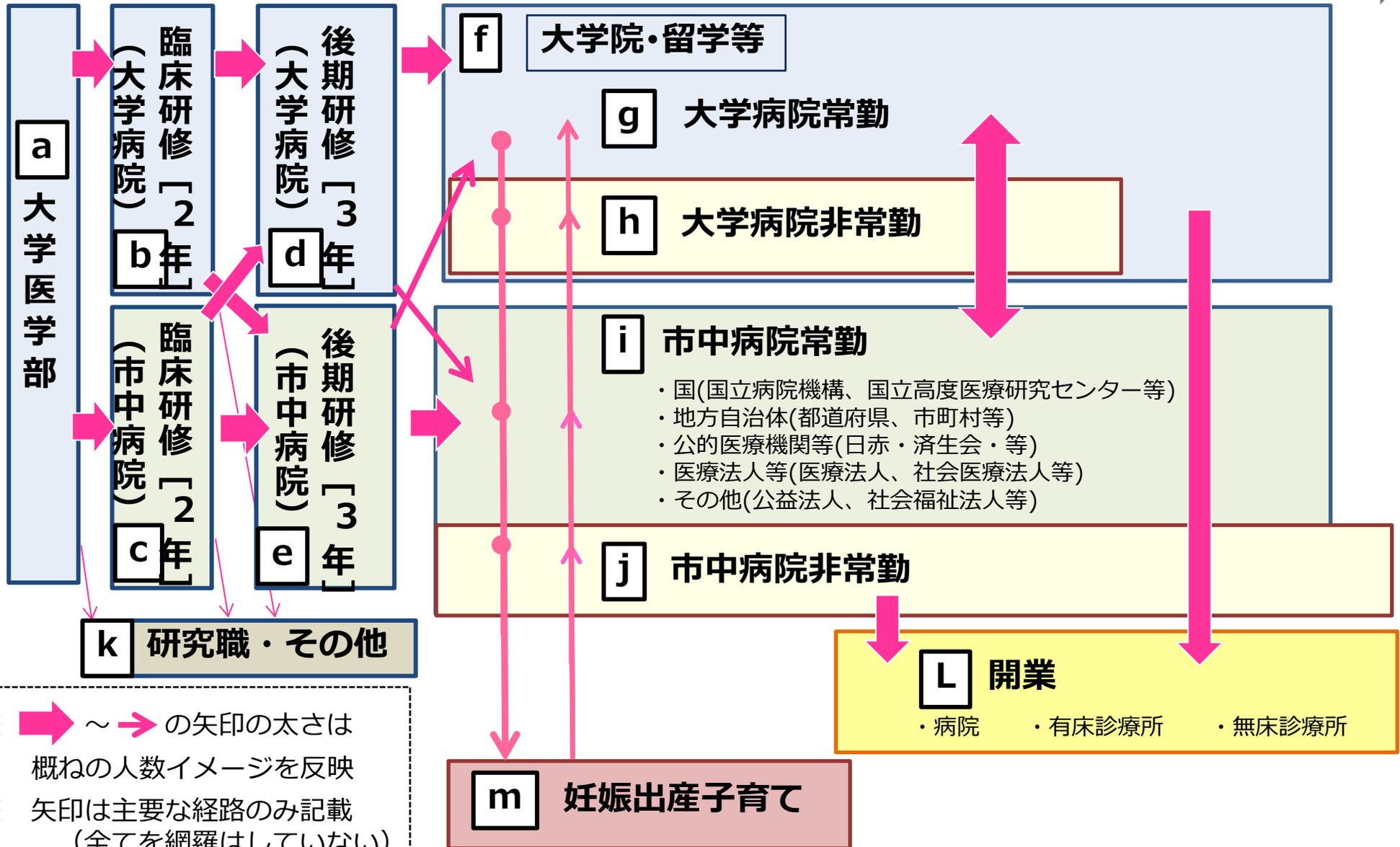
26歳

29歳

30-32歳

40歳頃～

(年齢)



# ① 医療サービスにおける課題（1）患者・住民・自治体の視点

## 1. 地域に関する課題

(1) 僻地等における医療へのアクセスが困難

- ① 中山間地域、僻地等では日常診療や救急医療へのアクセスが困難
- ② 地域によって曜日・時間や診療科の制限が存在
- ③ 専門医療や周産期医療などが確保されていない地域が存在

i,L

(2) 都道府県間格差

医療へのアクセス（医師確保）が比較的充足している地域（都道府県）とそうでない地域とで格差が存在

g,i,L

## 2. 診療科に関する課題

特定の診療科に係るサービス（医師）の不足

- ① 産科（分娩施設）・小児科等の特定の診療科（医師）へのアクセス確保が困難
- ② 多くの地域で救急医療確保が困難（救急医療に対応できる医師の確保が困難）

i,L

i

## 3. サービスニーズに関する課題

(1) 特定施設への集中

大規模施設（大病院）に患者が集中し、待ち時間や診療時間（診療内容）に不満が生じる（相対的な医師不足）

g,i

(2) 専門医療や特定のサービスへのアクセス

- ① 小児科など24時間体制での専門医による診療の希望に対して、多くの地域で対応が困難
- ② 先進的な医療へのアクセスが大都市部に限られている（住み慣れた地域での専門医による診療を希望）

i,L

g,i

# ① 医療サービスにおける課題（２）サービス提供者等の視点－１

## 1. 地域に関する課題

### (1) 医師の赴任に係る課題

- ① 個人の意思として地方等に赴任したがるらない（本人や家族の志向・子供の教育等の生活環境）
- ② 医師のキャリア形成に有利／不利の判断が影響（期待できる症例や手技経験など）

g,i

b~i

### (2) 都道府県間格差

- ① 都会に研修医や研修後の医師が集まる（地方医大における都会出身者の割合が高く、都会に戻る）
- ② 都会出身の地方医大生の多くが地方に残らず、地方での医師確保・医師派遣が困難

b~e

a~e

### (3) 経営上の課題

僻地等では経営困難な小規模自治体病院が多く、必要な診療科・医師数を集めることが困難

i

## 2. 診療科に関する課題

### (1) 産科、小児科、外科、救急科等の特定の診療科の医師不足

- ① 慢性的な過重労働に対する不人気／離脱による悪循環（救急医療を含め特定の診療科全般）
- ② 安全なサービス提供のための相当数の医師確保が困難（特に産科）
- ③ 特定の病院への集中による過重労働（休日や夜間の救急受診増・専門医志向）（特に小児科）
- ④ 小規模施設での少人数スタッフへの業務負担集中（麻酔科を含め特定の診療科全般）

g,i

i,j

i

i,j

### (2) サービス受益者から直接みえにくい診療科等での不足

麻酔科、病理診断科、放射線科等、一定規模以上の病院機能として必要な診療科医師の確保が困難

i,j

# ①医療サービスにおける課題（2）サービス提供者等の視点－2

## 3. 施設に係る課題

- (1) 特定の施設への集中と医師派遣機能の低下  
都会や一部の病院等に集中した医師が必ずしも不足地域・施設に派遣されない
- (2) 病院・診療所の違い
  - ① 病院勤務医と診療所の医師とで、労働時間等に違いがある
  - ② 地域の中核病院の標榜診療科すべてに常勤医が配置できない
  - ③ 平日の日中以外は診療をしない体制の診療所が増加
  - ④ 有床診療所では開設者の高齢化に伴い後継者確保が困難
- (3) 新たな専門医の仕組み  
新たな専門医の仕組みを医師偏在の改善につなげていくことが必要

d,e,g,i

g,i,L

h~j

L

L

b~e,g,i

## 4. 就労環境に関する課題

- (1) 持続的に勤務できる環境の整備
  - ① 医師不足／過重労働により生じる不人気／離脱による悪循環の回避
  - ② （指導医にとって）専門医資格を維持できる環境の確保、  
（専攻医にとって）十分な指導医の確保
  - ③ 多様化する働き方や価値観を踏まえた勤務環境の整備
- (2) 女性医師増加への対応  
女性医師の増加に応じた出産や育児等ライフステージに対応する就労・復職の環境整備

g~j

b~e,g,i

f,h,j,k,L,m

m

## ② 介護・福祉サービスにかかる課題

- ① 介護分野に精通している医師の育成
- ② 医師不足地域における介護老人保健施設の医師確保
- ③ 介護老人福祉施設の配置医確保

## ③ 産業保健(産業医)にかかる課題

- 次の論点について、現在、「産業医制度の在り方に関する検討会」にて、議論が進められている

＜産業医制度の在り方に関する検討会の検討事項＞

- (1) 産業医の職務の範囲
- (2) 保健師等の医師以外の産業保健スタッフの役割
- (3) 小規模事業場における労働衛生管理体制の強化
- (4) 事業者と産業医の関係
- (5) その他

## ④ 行政機関における課題

- ① 保健所(全国486カ所)所長の確保
- ② 検疫所(全国13カ所)の医師や、エボラ出血熱、新型インフルエンザ感染症等の新興感染症にも対応する医師の確保
- ③ 全国の矯正施設の矯正医官の確保
- ④ 保健・医療・福祉施策の企画・立案のための医師の確保

## ⑤ 研究機関における課題

- ① 大学医学部等で基礎研究を志す医師が減少
- ② 社会学分野の研究者が不足

## ⑥ 民間企業における課題

- 医療関連産業の進展に伴う、創薬や医療機器開発に係る医師の需要増加

## ⑦ その他（国際協力等）の課題

- ① グローバル・ヘルス・リーダーとして世界の保健医療を担う、人材の育成・確保
- ② 薬事規制の国際調和推進のための人材育成・確保
- ③ 諸外国で医療活動を行う際の資格取得等にかかる課題

## 論点1

### 医師偏在に係る課題についてどう考えるか

- ・ 更に追加すべき課題はないか
- ・ 従前から指摘されている課題について、状況はどのように変化しているか

## 論点2

今後、これらの課題についての背景や要因を検討する上で、留意すべき点は何か

## 論点3

今後、これらの課題の対応策を検討する上で留意すべき点は何か